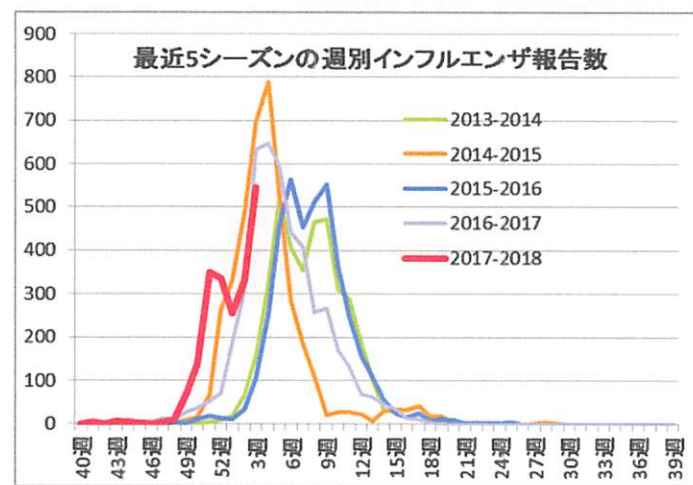
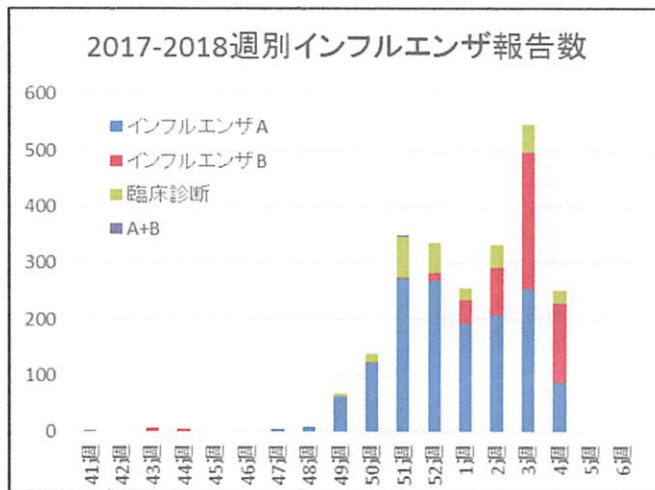


週間感染症情報

2018年3週 2018年1月15日より2018年1月21日まで

麻疹	
風疹	
水痘(みずぼうそう)	2
ムンプス(おたふくかぜ)	
百日咳	4
溶連菌感染症	10
手足口病	1
ヘルパンギーナ	
伝染性紅斑	1
感染性胃腸炎	26
ロタウイルス(再掲)	
便アデノウイルス(再掲)	
突発性発疹	1
伝染性膿痂疹(とびひ)	3
ヘルペス性口内炎	2
アデノウイルス感染症	1
RSウイルス感染症	1
マイコプラズマ感染症	
インフルエンザ(臨床診断含む)	546
インフルエンザA	254
インフルエンザB	243
A+B	

1月25日、岡山県にインフルエンザ警報が発令されました。常盤学区でのインフルエンザBの流行が拡大しています。4週は1/24(水)までのまとめですが、A型 87例 B型 141例 臨床診断 23例 計251例でした。B型はA型に比較して軽症ですが、抗インフルエンザ剤が効きにくい印象があり、お話しして使用されない場合も増えてきています。インフルエンザの典型的な経過は、発熱が3～5日続き、しばらくして咳がでて、1週間程度で回復治癒します。インフルエンザウイルスは、のどの奥で増えますが、ある程度時間がたたないと、検査キットで陽性になるほど増えません。最近、園や学校などから、「すぐに受診して検査をしてもらってくださいと言われた。」と、受診される保護者が増えています。それほど重症感がないなら、一晩様子をみて翌日受診するようにしてください。周囲で流行があるならば、検査で陰性だったとしても、インフルエンザでないと言えません。また、周囲で流行があり、同様の症状であるならば、医師は、インフルエンザと診断して、抗インフルエンザ剤を処方する事があります。大切な事は、薬よりも「**休養と栄養とやさしい看病**」です。朝体調不良にも関わらず、無理をして登校し部活までして午後になり高熱がでて、輸液が必要になった中高校生もいます。感染を広げないためにも、体調不良の場合は休みましょう。



(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。 <http://miyaiinsoja.webmedipr.jp/>)